

2009年3月6日

 株式会社ソフトフロント
 代表取締役社長 阪口 克彦

(証券コード番号: 2321)

 問い合わせ先: 取締役財務・管理統括担当
 佐藤 健太郎

電話番号: 03-3568-7007

平成21年3月期通期業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月9日付『平成20年3月期 決算短信(非連結)』において公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

通期

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
前回発表予想(A)	1,020	60	60	55	637円52銭
今回修正予想(B)	780	△190	△190	△195	△2,119円52銭
増減額(B-A)	△240	△250	△250	△250	—
増減率(%)	△23.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	674	△172	△171	△338	△3,931円14銭

2. 修正の理由

前期と比較すると増収を見込むものの、SIP/NGNを活用するサービス・製品の立ち上がりはいまだその途上であり、売上ならびに各利益への転化が遅れている状況にあります。特に第4四半期においては、世界的な経済環境の深刻化により、大手企業を中心とする当社の取引先においても予算執行を凍結・延期したケースが見られるなど、売上の伸びに影響が出ています。このような不安定な経済状況は今後も継続するものと考えられるため、平成20年3月24日に発表した中期経営計画につきましても、その数値目標を当面凍結します。

なお、引続き経済環境の影響は懸念されるものの、NGN(Next Generation Network)を中心とする当社のターゲット市場は携帯電話分野、MFP(Multifunction Peripheral)分野など、さまざまな分野に広がり、これから成長する市場と位置付けられます。このため、平成21年2月4日に発表したNTTとの業務・資本提携によるNGN対応SIP-SDK事業を新たな柱とし、販路拡大の起爆剤として有効に活用するなど、引続き積極的に市場に対応することで、SIP/NGN関連市場の拡大に確実に対処してまいります。

(注)上記に記載した業績予想等は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等はこの資料に記載されている予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

以上